

いたずら博士の 科学史入門講座

「科学史の研究」というのは、「優れた科学者たちの創造的な研究の社会的・個人的な研究生活を追求すること」が中心に行われてきました。しかし、そういう科学者たちだって、先駆者たちの研究成果を学んで初めて、自分の〈新発見〉を科学史の上に積み上げることができたのです。そういうことに注目すると、「科学史研究」と「科学者たちの受けてきた教育」とは不可分に結びついていることが明らかになります。「後の世代の科学者たちにとっては、〈先行する科学者たちの研究成果〉をどのように学び知ったか」ということは、とても重要な意味をもっているのです。

私が「科学史研究」が好きな理由の根本的な理由は、「〈優れた科学者たちの研究の道筋〉をたどっていくと、〈真に創造的な考え方〉を発見できて、〈自分も頭がよくなった〉と思える」ことにあります。そういう「科学史と科学教育の密接な関係について、多くの科学史的な実例を引きながらお話できたらいいな」と思っています。

●主催／後援●

日本科学史学会／板倉研究室

●講師・演題●

板倉聖宣＝いたずら博士

(日本科学史学会会長、仮説実験授業研究会代表)

科学史と科学教育——新発見と再発見

●日時・会場●

9月1日(日) 午後2～4時 (30分程度の質疑応答を含む)

明治大学リバティタワー 1階, 1012教室

JR御茶ノ水駅より徒歩4分

●参加費(資料代含む, 当日徴収)●

1000円, 科学史学会の会員は500円

●定員・申込み●

250名(先着)

資料作成の都合上, なるべく事前申込みをお願いします。

Eメール: itaken1963kasetu@gmail.com

文例: 9月1日開催の科学史入門講座に参加します。

「参加者氏名・参加人数・勤務先や所属・連絡先〒住所」を明記。

講師高齢のため, やむを得ず予定変更になる場合があります。

その際には「板研情報局: <http://itakurakenkyusitu.blog.fc2.com/>」

または「日本科学史学会: <http://historyofscience.jp/>」に告知させていただきます。

ネット中継も
計画しています。
詳細が決まり次第,
「板研情報局」にて
お知らせします。

